

県内景況情報

4月期

● 製造業

〈食料品〉

〔乳製品製造業〕

酪農家の減少による原料乳不足が喫緊の課題である。また、消費伸び悩みが続く中、販売価格の値下げが懸念される。

〔パン製造業〕

売上は若干ながら上昇気配だが、6月より材料の小麦粉の値上がりが気がかりだ。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

年度明けとなり、工事物件が終了し、仕事量が減少している。

〔木材製造業〕

4月15日に福岡県大川市向島の筑後川昇開橋のたもとに観光・インテリア情報ステーション「大川TERRAZZA (テラツツァ)」がオープンした。家具やインテリアを買い求める人の相談を受け家具店の情報を提供する「家具コンシェルジュ」を配置するなど、大川の魅力を発信する場が出来た。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄〕

前月比と、操業率は変化なし。電気炉用の屑鉄の上昇は少し落ち着いたようだが、先行きの不透明感が強い。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

組合員1社破産申立、手続開始。電気使用量前年同月比102.9%（前々年同月比103.4%）

〈電機機器〉

〔電気機械器具製造業〕

4月度売上高は、先月より減少。（前年同月比では同等）。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており来月度以降の増産を期待している。

〔電気機械器具製造業〕

半導体装置などの会社は忙しい。一部部品がそれら装置に使われるものは納期がかかるものが出ている。忙しい所と暇な所の差が激しい。

● 非製造業

〈卸売業〉

〔果実卸売業〕

昨年末からパインの産地であるフィリピンの長雨が回復しつつありパインの輸入量が少しずつ増えている。

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

寒い日が長引いたので鍋物商材が4月上旬まで活発だった。桜の開花が遅かったため、花見商戦が長く続き好調だった。

〔燃料小売業〕

業界としては4月1日JXTG誕生。元売再編が加速化する中、ガソリンの需要の減少は続いており、益々厳しい時代に入った。人手不足も社会問題化しており、人材育成努力・生産性向上運動を強化していく。

〈商店街〉

〔福岡市〕

博多どんたく（5月3～4日）に向け、博多川水上本舞台の設営に入っている。

〈サービス業〉

〔洗濯業〕

気候が春らしくなり微小だが売上も向上している。今から冬服の衣替えのシーズンに入り業界も忙しくなる。

〔ビルメンテナンス業〕

4～5年の間で同業者が増え競争が激しくなった。

〈建設業〉

〔建築工事業〕

見積工事物件数が減少している。ただし手持工事量は堅調（2～6ヵ月以上受注）に推移している。特に夏場以降が忙しくなると云われている。

〔総合工事業〕

4月は全体的に落ち着きを見せた業況であった。

〈運送業〉

〔一般貨物自動車運送業〕

4月は各組合員平均で売上・収益とも前年並みで推移している。燃料単価が収益を大きく左右するので今後注意が必要である。

福岡県の業種別D・I値の変化

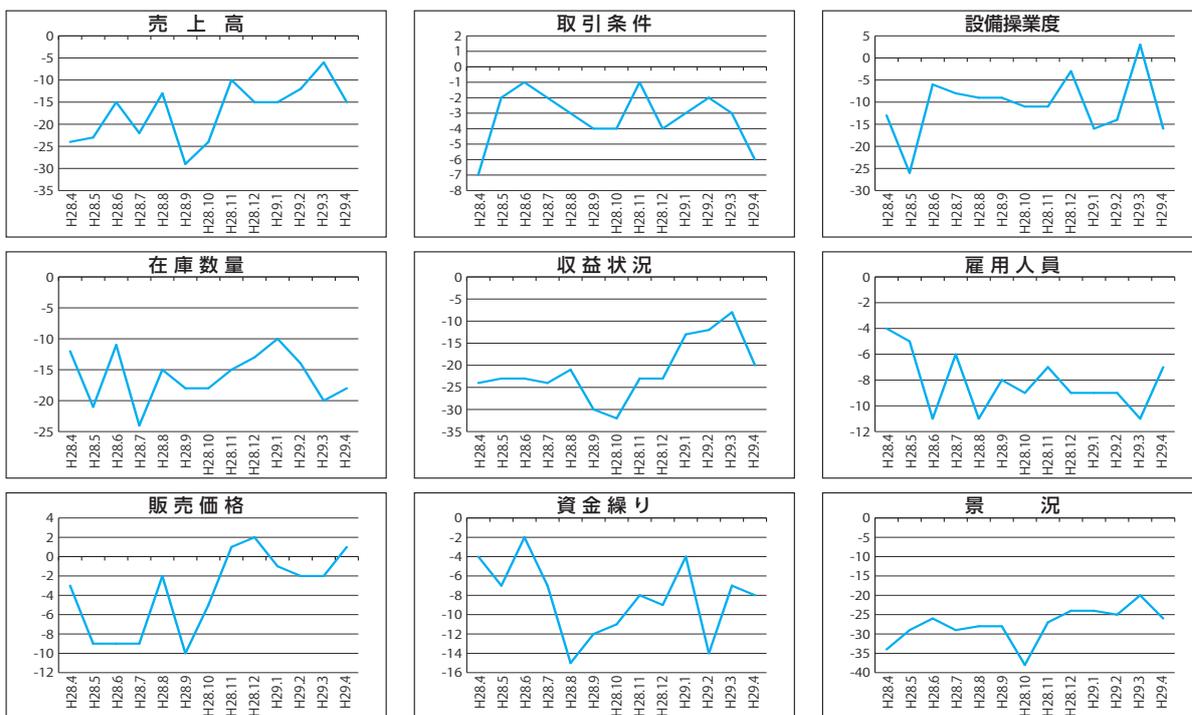
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	→	→	→	→	↓
	繊維・同製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	木材・木製品	↓	↓	→	→	↓	→	↓	→	↓
	印刷	→	↓	→	→	↓	→	→	↓	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	↓	→	→	↓	→	—	→	↑
	小売業	↓	→	→	↓	↓	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	↓
D・I		-15	-18	1	-6	-20	-8	-16	-7	-26

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中6項目が下降した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>